

第32回医学情報サービス研究大会プログラム

【第1日目】 2015年7月18日(土)

- 11:30~13:00 受付
- 12:40~12:50 発表者・モデレータ (M)・タイムキーパー (T) 顔合わせ
(口演発表 O-01~05)
- 13:00~13:05 オリエンテーション
13:05~13:20 開会式・幹事会報告
- 13:20~14:40 記念講演
「エボラウイルス研究の現状と展望」
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
教授 高田 礼人 先生
- 14:50~16:05 口頭発表 A (O-01~05): 学術情報の収集と分析
- O-01 エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスによる分析
青木仕 (医学情報サービス研究大会代表幹事、順天堂大学図書館)
- O-02 医学生物学実験材料の提供情報による機関影響度の新機軸
天野晃 (理化学研究所、筑波大学)、角田裕之 (鶴見大学)、石川大介 (科学技術・学術政策研究所)
- O-03 日本における医学専門書出版点数の定量的分析: 医学図書館の購入点数との相関を中心に
大谷裕 (東邦大学医学メディアセンター)
- O-04 電子ジャーナル時代における蔵書構成評価の試み: 医学系 Open Access Journal の計量的分析
城山泰彦 (順天堂大学図書館)
- O-05 MEDLINE のコアクリニカルジャーナルを用いた医学論文の分析
村上陽菜、井上 彰、村上貴久 (一般財団法人日本医薬情報センター)
- 16:15~17:20 プロダクトレビュー [E-01~E-08]
- 17:20~17:25 バーチャル・ポスターツアー
- 18:00~20:00 懇親会
会場 京王プラザホテル札幌 1階
buffet&パーティコート グラスシーズンズ
札幌市中央区北5条西7丁目2-1

【第2日目】 2015年7月19日(日)

- 9:10~11:00 受付 (2日目からの参加者のみ)
- 9:10~9:20 発表者・モデレータ (M)・タイムキーパー (T) 顔合わせ
(口演発表 O-06~10)
- 9:30~9:35 事務連絡・開会宣言

- 9:35～10:50 口頭発表 B (0-06～010) : 図書館サービス
- 0-06 医療情報サービスとしての病院の歴史展示について
稲松孝思、宮本孝一（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター）
 - 0-07 長崎市立図書館が取り組むナラティブ支援：「図書館 de サロン」という形の新たな試み
井上彩、西岡由乃（長崎市立図書館）
 - 0-08 公共図書館における「次世代医療健康情報サービス」の役割に関する一考察
佐藤 美加（大和市立図書館、TRC 神奈川 新図書館準備業務部）
 - 0-09 患者当事者の利用に耐えられる健康・医療情報サービス構築への提言：公共図書館を例として
西河内靖泰（全国肝臓病患者連合会、広島女学院大学）、石井保志（健康情報棚プロジェクト）
 - 0-10 図書館来館者数の増加を目的としたキャンペーンの導入
依光朋子、山崎裕司、ロー亜矢子（高知リハビリテーション学院図書館）
- 11:00～12:00 プロダクトレビュー [E-09～E-15]
- 13:00～13:25 ポスターセッション待機時間
- 13:10～13:20 発表者・モデレータ (M)・タイムキーパー (T) 顔合わせ
(口演発表 0-11～15)
- 13:30～14:45 口頭発表 C (0-11～015) : 情報の電子化・図書館ネットワーク
- 0-11 北海道における病院図書室ネットワーク活動：北海道病院ライブラリー研究会 30 年に向けて
岸上友紀（日鋼記念病院）、藤本衣代（手稲溪仁会病院）、工藤女恵（天使病院）、大友理佐子（札幌保健医療大学）、伊藤真紀子（帯広厚生病院）、成田ナツキ（JCHO 北海道病院）、益村亜希子（網走厚生病院）、小杉直美（札幌厚生病院）、勇まゆみ（釧路孝仁会記念病院）、福井堅一（北海道看護協会）
 - 0-12 「東邦大学・医中誌診療ガイドライン情報データベース」の評価と可能性
児玉闊，大谷裕（東邦大学医学メディアセンター）黒沢俊典，生崎実，松田真美（医学中央雑誌刊行会）
 - 0-13 プリント・ディスアビリティのための図書館資料電子化サービス
小林泰名（北海道大学附属図書館）
 - 0-14 近畿病院図書室協議会共同リポジトリ” KINTORE”：構築までの 500 日とこれから
藤原純子（洛和会音羽病院図書室）、谷口裕美子（八尾市立病院図書室）、寺澤裕子（関西労災病院図書室）、増田徹（藍野大学中央図書館）
 - 0-15 ディスカバリーサービスの検索履歴から見るユーザー動向
馬淵沙織、長谷川智史（株式会社サンメディア）
- 14:45～14:50 事務連絡
- 14:50～15:10 閉会式
- 15:10～15:30 集合写真撮影

※口演発表前の顔合わせについて

本会ではセッションをより円滑に進め充実した学びの場にするため、口演発表開始前に発表者・モデレータ・タイムキーパーの顔合わせを行います。第1日目の発表者・モデレータ・タイムキーパーは7月18日(土)12:40に、第2日目7月19日(日)、午前の発表者・モデレータ・タイムキーパーは9:10、また同日午後の発表者・モデレータ・タイムキーパーは13:10に口演発表会場となる小講堂のステージ前にお集まりください。

【 両日共通 】

ポスターセッション

- P-01 高齢者専門病院における一般向け健康情報サービス
宮本孝一(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター)
- P-02 病院図書室ネットワークにおける総合目録の役割と今後
川野真樹(京都第二赤十字病院図書室)、春日井泉江(名古屋記念病院図書室)
- P-03 システムティック・レビューにおける文献検索: 2014年のPubMed・医中誌web 索引データより
眞喜志まり(東邦大学習志野メディアセンター)
- P-04 唱歌本に描かれた明治の衛生事情: 『鼠疫予防衛生教育ねずみ唱歌』の紹介
菅修一(花園大学文学部図書館司書資格課程)
- P-05 高齢化社会を乗り越えるヒント: 内村鑑三の転機となった漁村の取り組みから考える
関和美(NPO 法人安房文化遺産フォーラム)
- P-06 S+HISHO! 北海道大学医学部図書館における「がんばらない」秘書向け講習会の取り組み
川村路代(北海道大学附属図書館)
- P-07 病院図書室担当者による自作業務支援データベースシステムの1例
田島裕子(JA 北海道厚生連札幌厚生病院医療情報課)、佐藤光稔、小杉直美(JA 北海道厚生連札幌厚生病院総務課)
- P-08 医系学生への情報探索実態調査: 押しつけの「支援」をしないために
川村路代、松尾博朋、坂本ゆう子、笠井美由紀(北海道大学附属図書館)

※ポスターセッション(発表者待機時間等)について

ポスター発表者は第1日目の17:20-17:25にメインホールで行われる「バーチャル・ポスターツアー」で実行委員より演題、発表者名をご紹介させていただきます。発表者は、第2日目の13:00~13:25はできる限り、各自のポスターの前で待機の上、参加者と交流を深めるようお願いいたします。

プロダクトエキシビジョン

展示+プロダクトレビュー(発表順)

- E-01 株式会社 医学書院
- E-02 エルゼビア・ジャパン株式会社
- E-03 シュプリンガー・ジャパン株式会社
- E-04 特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会
- E-05 ワイリー・ジャパン株式会社
- E-06 丸善株式会社

- E-07 株式会社メテオ
 - E-08 ユサコ株式会社
 - E-09 株式会社サンメディア
 - E-10 株式会社メディアフュージョン
 - E-11 EBSCO International Inc
 - E-12 iGroup Japan
 - E-13 株式会社ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン
 - E-14 Cambridge University Press
 - E-15 株式会社紀伊國屋書店
- 展示のみ
- E-16 AAAS/Science
 - E-17 株式会社カルガー・ジャパン
 - E-18 オックスフォード大学出版局
 - E-19 富士通株式会社